

手話にチャレンジ Vol. 9
「丹波三宝」HP

障がい福祉課(本庁第2庁舎内)
☎ 88-5262 ☎ 88-5283

「丹波栗」「丹波黒大豆」「丹波大納言小豆」は丹波市が全国に誇る宝物といえる特産品であることから、「丹波三宝」と名付けられています。丹波市が誇る特産品を手話で覚えてみませんか。

栗

正面

横



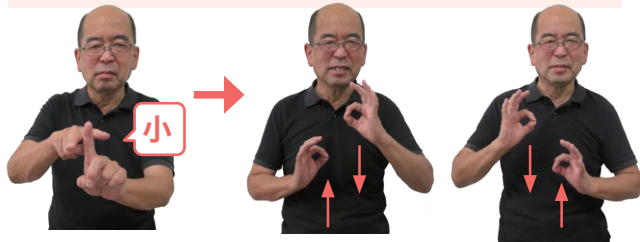
握りこぶしであごを擦るように、2回動かします。

黒豆



手のひらを頭にあって、髪を撫でるように斜め下におろします。次に、左右それぞれの親指と人差し指で輪を作り、交互に上下に動かします。

小豆



左手の人差し指を立て、右手の人差し指と中指で挟み、漢字の「小」の字を表します。次に左右それぞれの親指と人差し指で輪を作り、交互に上下に動かします。

動画配信「手話を楽しもう」

丹波市在住の聴覚に障がいのある人が出演した動画を配信しています。動画を観ながら一緒に楽しく手話を覚えてみませんか。

市ホームページキーワード欄に

手話を楽しもう

検索



単語編



会話編

12月3日～9日は「障害者週間」

障害者週間とは、国民が障がい者の福祉についての関心と理解を深めることを目的とした週間です。12月3日から、市内の公共施設などに啓発グッズを設置し配布します。ぜひ、手に取ってみてください。

12月19日～25日は「丹波市手話言語週間」

手話が言語であることを理解し、誰もが社会参加できるこころ豊かな住みよい丹波市になることを目的として、平成27年12月22日に「丹波市丹波市手話言語条例」を制定し、手話の理解促進と普及に取り組んでいます。

「丹波市手話言語週間」には、丹波市中央図書館で、手話に関する書籍を展示します。この機会にぜひ、手話への理解を深めましょう。

聞こえない人の暮らしから

聴覚障がい者は、背後や離れた場所からの声かけや、車のエンジン音やクラクション、自転車のベルなどに気づくことが困難で、周囲の状況がすぐに把握できません。突然後ろから肩をたたかれて驚いたり、車や自転車が接近して怖い思いをすることもあり、外出時はとても不安です。

聴覚障がいは、外見では分からないため、聞こえないということに気付くことができません。

声掛けや音に反応していない人がいれば、聴覚に障がいがあるのかもしれないという意識をし、思いやりをもった誰もが暮らしやすい社会をめざしましょう。

